

平成25年度食育推進事業の主な取り組み実績概要 (健康福祉部健康づくり推進課分)

25年度予算額 3,374千円(国庫 1,074千円 一般財源 2,300千円)

【主な事業の取り組み実績】

(1)食育推進体制整備事業

1)奈良県食育推進会議の開催

- H25.9.5 ○県民の食生活の課題
○平成25年度奈良県の食育推進事業の概要
○平成26年度の食育推進事業として取り組むべき事項
- H26.2.10 ○少年期の食育等に関するアンケート調査結果概要
○平成25年度食育推進事業の主な取り組み実績
○平成26年度食育推進事業の主な取り組み予定

2)市町村の食育推進計画策定および食育推進に対する支援

①市町村担当者等会議の開催

8/19:吉野保健所(管内全市町村)

②食育推進会議委員による市町村食育推進講演会の実施

尾川委員による8/19:吉野保健所の会議で講演

③保健所による計画策定の支援および食育推進支援

市町村計画策定会議への参画および支援 9市町村

市町村の食育推進への支援 14市町村

計画策定市町村数(別紙 参照)

平成25年3月末

18市町村(策定率 43.6%)



平成26年3月末(予定)

25市町村(策定率64.1%)

(2)食育推進普及啓発事業

1)父と子の料理教室の開催(食生活改善推進連絡協議会に委託)

調理をする機会のない働き盛り世代の男性に、子どもとの料理教室をとおして、正しい食生活の理解と食べることや料理に興味を持つきっかけづくりとするため開催した。

対象: 保育所、幼稚園、小学校低学年の幼児及び児童とその父親等

内容：講義 日本型食生活・三角食べについて

調理実習 調理の基本も入れながら、親子共同で簡単な料理をつくる。

開催場所・回数：市町村公民館や保健センター等

17の市町村において17回開催（H26.1現在）

（奈良市、大和郡山市、天理市、斑鳩町、平群町、香芝市、御所市、大和高田市、

王寺町、上牧町、河合町、宇陀市、桜井市、田原本町、高取町、五條市、大淀町）

<調理実習風景>



<事業を実施して>

参加者の反応：特にお父さん方には好評で、参加してよかった、またこのような機会があれば参加したい、家でも調理をやってみる、という声が多く聞かれた。

子どもたちもお父さんとの調理が新鮮で、楽しくやっていた。

課題：土曜日や日曜日に教室を開催したが、なかなか時間がとれないのか、あるいは興味がないのか参加者が集まらなかった。また「父と子」としたため、市町村からは広報紙には載せられないと言われた。教室名に配慮と工夫が必要であった。

2) 高校生等を対象とした食育の推進(ヘルスチーム菜良協議会に委託)

高校生に対し、適正な食生活や生活習慣についての自己管理の能力をつけるための啓発活動を行った。

① 高校文化祭等を活用した啓発活動の実施

9/6 高取国際高校文化祭

11/17 奈良県産業教育フェア（奈良朱雀高校）

② 調理力をつけるための講座等啓発活動の実施

ヘルスチーム菜良および食生活改善推進員による高校生や大学生、料理初心者向きの調理の基本、簡単調理法の動画の作成を行う。これをホームページ等で3月末に発信する予定。

< 高取国際高校での活動状況 >

高校生、教諭、保護者約 150 名に普及啓発

啓発内容：間食のカロリー、スポーツ時の栄養、美と健康、朝食と夏バテ 等について



間食に関するクイズコーナー 「元気 100 倍！ビタミンパンチで夏バテばいばいきん」
(奈良 TV「せんとくん通信」の取材を受ける)

< 奈良産業教育フェアでの活動状況 >

産業教育フェアに参加した高校生及び高校関係者 約 80 名

内容：野菜に関するクイズや 1 日 350g 分の野菜の計量体験、

「高校生ための健康づくりガイドブック (H24. 3 ヘルサーム奈良が作成)」の配付等。



350g の野菜の量を計っているところ

(3) 食育推進環境整備事業

1) 健康なら協力店事業(事業の一部を栄養士会に委託)

すべての県民が、自らが健康づくりに取り組める環境を整備するため、①栄養成分表示やヘルシーメニュー、朝食の提供に取り組む店舗や、②施設内禁煙に取り組む店舗、施設等を「健康なら協力店」として募集し、これら協力店の拡大、充実を図った。

協力店数(平成24年度)

○栄養成分表示店:203店舗 ○ヘルシーメニュー提供店:109店舗

○朝食メニュー提供店:23店舗 ○禁煙推進店:76施設

平成25年度新規登録店舗数 21店舗 (H26.1 現在)**2)食育県民講座の開催**

食育の周知を図り、自分の食生活管理が出来る県民や食育を普及する人を増やすため、栄養士養成する県内5大学と連携による「食育県民講座」を開催。

開催日時	テーマ	講 師	参加者数
11月30日(土)	食生活と骨密度	近畿大学農学部食品栄養学科 講師 郡 俊之 氏	14人
12月18日(土)	「ふとる油」と「やせる油」	奈良女子大学生生活環境学部食物栄養学科 教授 塚本 幾代 氏	44人
1月11日(土)	食品表示とは？ 食事バランスガイドを活用しよう！	帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 講師 岩橋 明子 氏	35人
2月 1日(土)	五感を育む味覚教育とは	畿央大学健康科学部健康栄養学科 教授 浅野 恭代 氏	113人
2月22日(土)	食物アレルギー考える	奈良佐保短期生活未来科 教授 池内 ますみ 氏	

3)妊産婦および幼児の食育に関するパンフレットの作成

食に関する情報が氾濫する中、適切な食生活の実践に向けて、正しい情報を提供するため妊産婦向けおよび幼児向けのパンフレットを作成。

26年度に、作成した妊産婦用パンフレットは産科医院に、また幼児用パンフレットは市町村の1歳6ヶ月児健診において配布し、活用する予定。

(4)食育に関するアンケート調査

食育推進計画における少年期の指標の現状値を把握するとともに、少年期への有効な取り組みを検討するため、アンケート調査を行った。

(別添 食育等に関するアンケート調査結果概要 参照)

(5)計画推進のための調査結果研究事業

県民健康・栄養調査結果(H.23年実施 ・ 427世帯、1,141人)の地域別や家族構成などによる詳しい分析を行い、県の健康づくり施策につなげる。現在分析中。